vol.23

forum

おかだ直樹事務所
（自由民主党石川県参議院選挙区第二支部）

事務局 ／ 〒920−8203 金沢市鞍月4−115
金沢ジーサイドビル４階
TEL.076(255)1931　FAX.076(255)1961
E-mail / okada0609-kanazawa@okada-naoki.net
www.okada-naoki.net

感謝の３選で幹事長代理

平成28年 岡田直樹

32万8千13票、全市町制す！

過ぎゆく平成二十八年、岡田直樹参院議員は多くの支持者の力を得て三回連続の当選を果たすと同時に、財務副大臣、自民党幹事長代理の重責を担い、政府・与党の中枢で職務に明け暮れた。石川全県から三十二万八千十三票もの期待を集めて勝利した七月十日の夜、岡田直樹は「皆様のご厚情に感謝で胸がいっぱい。初心を忘れず謙虚な気持ちで、ふるさとで暮らせる国づくりに全力を尽くしたい」と決意を新たにした。

騎馬に乗り、支持者と喜びを分かち合う岡田直樹＝七月十日、金沢市内の選挙事務所

今夏の参院選は、内政外交の課題に正面から取り組む自民、公明連立与党の安倍政権に対し、野党各党が政策や思想の違いを棚上げして理念なき選挙協力で挑む構図となった。

石川県でも、昨年から財務副大臣として実績を上げた岡田直樹に、民進から共産までが相乗りで対抗。野党共闘で擁立された女性候補が「戦争法」と決め付けた平和安全法制の廃止を叫ぶ選挙となった。

だが、今回から十八歳以上となった有権者は冷静だった。日本経済と国民生活の向上を第一に、北陸新幹線推進や企業誘致で人口減少に歯止めをかける政策を訴えた岡田直樹が十九市町すべてで圧倒、約十四万票の大差で勝利した。

財務副大臣と選挙両立

参院選石川県選挙区での連続当選三回は、平成に入って初めて。全国でも自民は二十八年ぶりに参議院で単独過半数を回復した。

とはいえ、今回の選挙は岡田直樹にとって決して容易でなかった。過去二回は新人、野党議員として攻める立場だったが、今回は現職副大臣として財務省や国会に張り付き、新幹線でとんぼ返りを繰り返しても、公示前、選挙区での活動は十分とは言えなかった。「もっと地元を歩き訴えたかった。そのぶん支えていただいた皆さんに一層感謝しなければならない」。財務副大臣の激務と議席確保の責任を両立した岡田直樹の言葉である。

喜ぶ間もなく、財務省に戻り、経済対策の仕上げに参画したあと、新たな任務は自民党幹事長代理。当選三回を数え、党役員として更に活躍の舞台が広がってきた。

当選確実となり、決意を述べる岡田直樹＝七月十日、金沢市内の選挙事務所